

総合工事業

星野建設 株式会社

家を建てるだけが仕事じゃない。
暮らしを提案し、夢を創造する。



星野建設 株式会社

島原市梅園町丁2870-1

Tel.0957-62-4101

Fax.0957-62-4231

<http://www.hoshinokensetsu.co.jp>

代表取締役／星野親房

設立／1950年11月5日

資本金／4,000万円

業種／総合工事業

従業員数／149名



一組一組のニーズを汲み取りながら完全注文住宅を手掛ける。施主のこだわりをカタチにするのはもちろん、窓から見える景色を考慮した空間設計や、周りの自然や環境と調和した家づくりを行い、家を建てた後の暮らし方までをトータルで提案。また島原市や大村市でファミリー向けにドライブインシアターを開催するなど、積極的に地域貢献も行っている。

補助事業の内容と成果

少子化時代に対応した

住宅の完全パッケージ化システムの導入

【事業のきっかけ】

加速度的に少子化が進むこの時代、住宅購入層で最も多い30代の人口は、20年前と比べて80%にまで落ち込み、それに比例するように、住宅の着工戸数も減少していた。また注文住宅は一軒一軒がオーダーメイドのため、施主との綿密な打ち合わせが何度も必要となり、営業担当者の負担が大きいという課題も抱えていた。

【事業内容・成果】

この点を克服するために「坪数×間取り×外観デザイン=320パターン」から選べる規格住宅の商品開発を行い、これをWEB上で公開。この見

える化によって、顧客は金額を含めて容易に住宅のイメージができるようになり、打ち合わせのベースができた。

さらにDIGITAL SKETCH DRAFTを導入し、設計ツールを充実。特殊な紙とペンを利用し、その場で手書きの図面から約5秒でPC上に図面化することが可能となった。これまでは営業担当者が書いた要望書から設計担当者が図面化しており、顧客に提示するまでに最低1週間を要していたが、打ち合わせの時間内に全てが完結できるようになり、営業コストの縮減ができた。

この他、営業マニュアルの作成により新人教育の短縮化、カーサスキップの導入により、近年需要の多いスキップフロアの構造計算ができるようになるなど、時間の短縮と品質の向上を同時に達成することができた。

【今後の展望】

一軒にかかる打ち合わせ時間が短縮できた分、営業担当者の担当物件が増すことを踏まえ、3年後には着工戸数を倍にしたいと考えている。

ものづくり補助金活用

営業担当者の顧客との
打ち合わせ時間

約70%削減

年間の資料請求数

約12.5倍

営業コストが縮減した分、新規の顧客を担当できるように。WEB上で分かりやすく新商品を打ち出すことで、問い合わせが増えた。



Utilization
of
Subsidies